

令和6年度 学校だより	沼津市立愛鷹小学校		
<h1>あしたか</h1>		志を持ち たくましく生きる人	No. 8 10月31日

\*親子でお読みください

## 運動会…虹色に輝け! 愛鷹オリンピック2024

朝夕は冷え込むようになりましたが、日中は半袖で過ごす日もあります。日よっての寒暖の差も激しく、体調管理の難しい季節です。健康を第一に子供たちの元気いっぱいを見守っています。

先日の運動会では、多くの保護者の皆様に子供たちの様子を見ていただくことができました。天気心配がりましたが、子供たちのパワーで雨雲を吹き飛ばし開催できました。御協力、ありがとうございました。



### 【読書の秋】 ~すてきな本との出会いを~

毎年6年生が行っている学力学習状況調査では、子供たちが平日にSNSや動画視聴に費やす時間の多さが課題のひとつに挙げられています。この結果を目にして、私は前任校でお世話になった医師が著した『自然欠乏症候群』という本のことを思い出しました。

「病気ではないが、何か具合がよくない」「なんとなく体調がスッキリしない」という人たちが最近が増えてくる。特に悪いところはないようだけど「つらさ」があるという様子で、いったい何が原因かはっきりしない。この本では、その原因のひとつとして「自然から遠ざかっている」こと、つまり「自然欠乏症候群」ではないかと問題提起しています。自然の少ない都会で生活する人たちや電気製品ばかりに囲まれて生活する人たちは、自然と遠ざかることで、病気に近づいてしまうことがあって、それが原因不明の体の不調となってあらわれるというのです。「自然欠乏」つまり「自然が足りていないよ」ということに気付かない人も多く、体調を崩したり病気に近づいたりしてしまうようです。自然体験のレジャーや観光に魅力を感じるのもそのためかもしれません。

愛鷹小は、自然に恵まれた学校です。耳を澄ますと野鳥や虫の声が聞こえます。木々の緑や草花のにおい、雨上がりの土のにおい、いろいろな生き物との出会い…まだまだ多くの自然が残る恵まれた地域です。SNSや動画視聴に多くの時間を費やすことが、自然欠乏につながってしまわないように…。そう感じます。

さて、一冊の本から何を学ぶか、何を感じるかは、人それぞれです。心を動かされる出会いがあることが本を読むことの魅力だと思います。「読書の秋」すてきな本との出会いを期待しています。